

# 住宅用火災警報器の維持管理

住宅用火災警報器の電池及び本体交換のすすめ



住宅用火災警報器は、古くなると電池切れや機器の寿命などで、火災を感知しなくなることもあり、危険です。

**定期的な作動確認やお手入れも必要です！！**

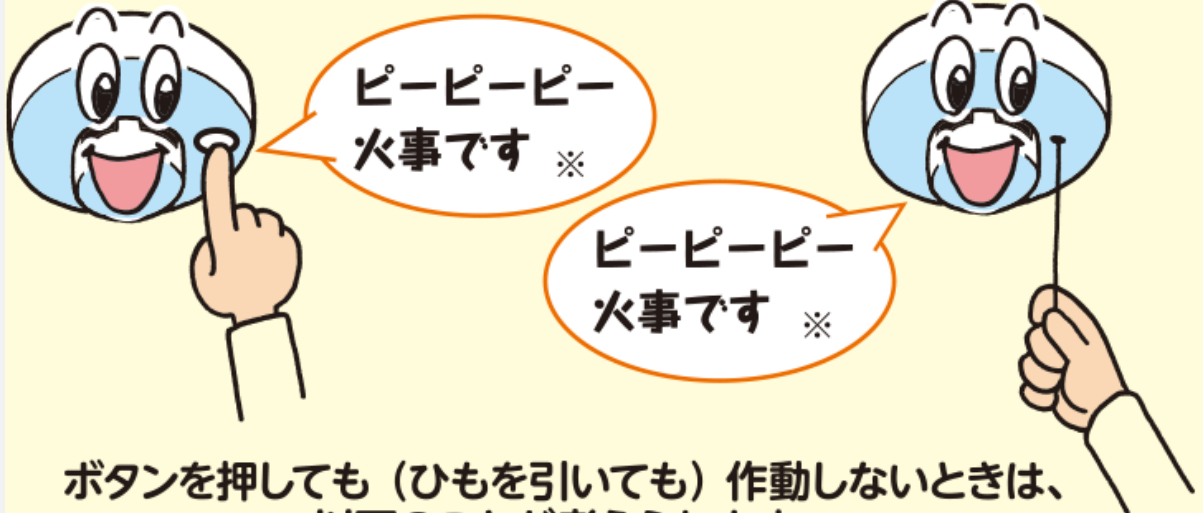
- 住宅用火災警報器はホコリが入ると誤作動を起こす場合があります。定期的にお掃除を行ないましょう。
- お掃除の方法は機種によって異なりますので取扱説明書をご確認ください。

**住宅用火災警報器にも寿命があります。**

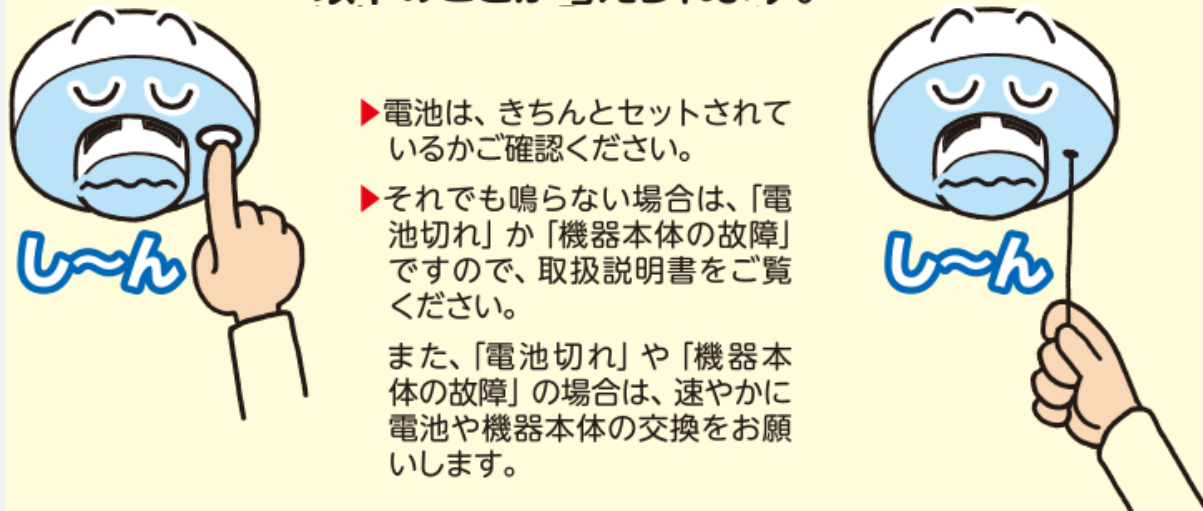
- 古くなると電子部品の寿命や電池切れ等で火災を感知しなくなることがあります。
- 10年を目安に新しい火災警報器へ交換をおすすめします。

作動確認のしかた

正常なら以下のように鳴ります。



ボタンを押しても（ひもを引いても）作動しないときは、  
以下のことが考えられます。



定期的に作動確認し、音声やブザー音を聞いてみましょう。

住宅用火災警報器のボタン押ししたり、ひもを引いて作動確認をしましょう。